株式会社 明電舎

平成28年3月期 決算説明会

平成28年5月19日 取締役社長 浜崎 祐司

	(十世:日2511)					
	2014年度 実績(A)	2015年度 予想(B)	2015年度 実績(C)	対前期比率	対前期増減 (C-A)	予想差異 (C-B)
受注高	241,232	248,000	247,747	102.7%	6,515	▲ 253
売上高	230,299	235,000	237,404	103.1%	7,104	2,404
営業利益	9,997	11,500	10,517	105.2%	520	▲ 983
経常利益	10,502	11,000	10,595	100.9%	92	▲ 405
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,868	7,500	6,962	101.4%	94	▲ 538
総資産	255,519		255,024	99.8%	▲ 494	
純資産	67,405		68,771	102.0%	1,366	
FCF	2,393		12,066	504.2%	9,673	

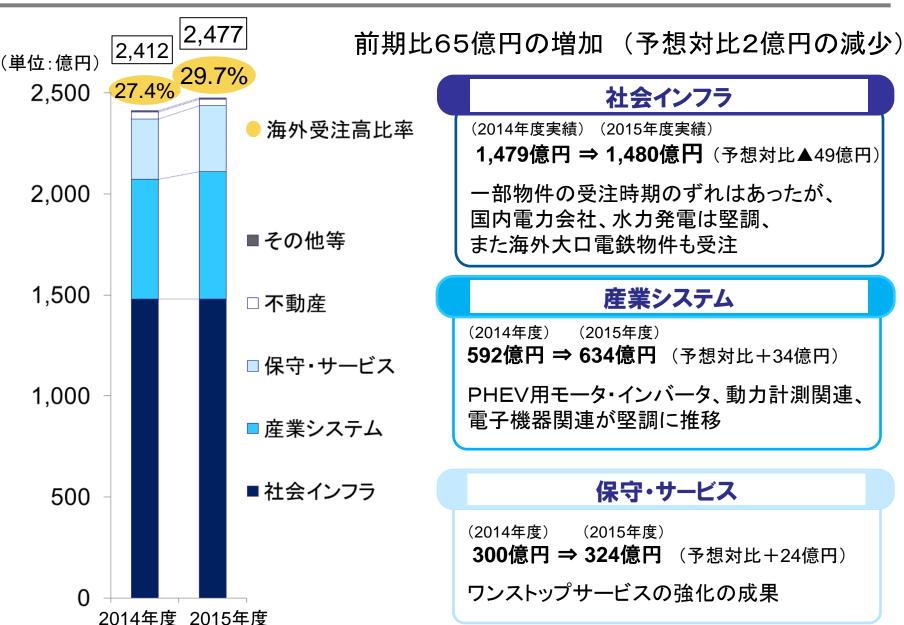
連結子会社数…39社 持分法適用会社数…2社

※表示方法の変更(今年度から、連結グループ内の出向者関係費を「営業外費用」から「営業費用(売上原価及び販管費)」として表示)により、2014年度の営業利益は遡及して組み替えた金額にしております。 MEIDEN

	2014年度 実績(A)	2015年度 予想(B)	2015年度 実績(C)	対前期比率	対前期増減 (C-A)	予想差異 (C-B)
設備投資額	8,887	9,600	8,314	93.6%	▲ 572	▲ 1,286
研究開発費	10,261	10,400	9,970	97.2%	▲ 291	430
有利子負債合計	51,586		47,845	92.7%	▲ 3,741	
自己資本比率	25.9%		26.5%		0.6%	
ROE	10.9%		10.4%		▲0.5%	
ROA (営業利益ベース)	4.0%		4.1%		0.1%	
配当性向	23.1%		26.1%		3.0%	

※有利子負債:短期借入金+長期借入金+コマーシャルペーパー

受注高の概要



社会インフラ

(2014年度実績) (2015年度実績)

1,479億円 ⇒ 1,480億円 (予想対比▲49億円)

一部物件の受注時期のずれはあったが、 国内電力会社、水力発電は堅調、 また海外大口電鉄物件も受注

産業システム

(2015年度) (2014年度)

592億円 ⇒ 634億円 (予想対比+34億円)

PHEV用モータ・インバータ、動力計測関連、 電子機器関連が堅調に推移

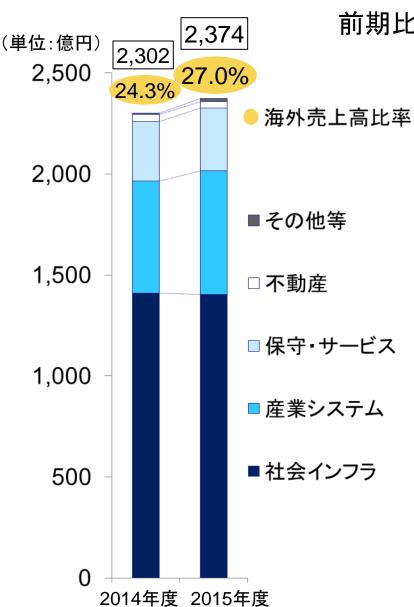
保守・サービス

(2014年度) (2015年度)

300億円 ⇒ 324億円 (予想対比+24億円)

ワンストップサービスの強化の成果

売上高の概要



前期比71億円の増加 (予想対比24億円の増加)

社会インフラ

(2014年度) (2015年度)

1,410億円 ⇒ 1,405億円 (予想対比▲15億円)

太陽光関連は減少も電鉄関連、水処理関連は増加

産業システム

(2014年度) (2015年度)

554億円 ⇒ 610億円 (予想対比+30億円)

PHEV用モータ・インバータ及び動力計測関連が増加

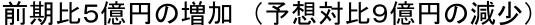
保守・サービス

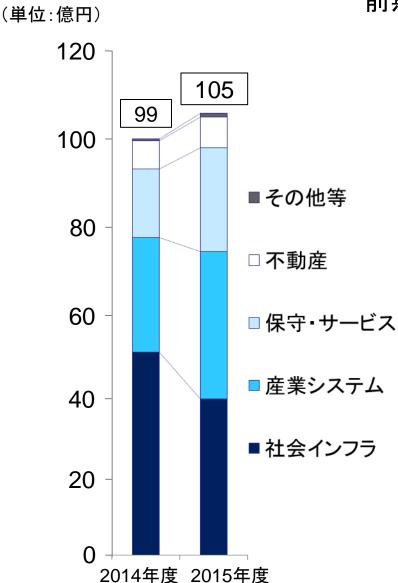
(2014年度) (2015年度)

297億円 ⇒ 310億円 (予想対比同水準)

ワンストップサービスの強化の成果

営業利益の概要





社会インフラ

(2014年度) (2015年度)

52億円 ⇒ 39億円 (予想対比▲18億円)

一部製品の不具合対応費用の発生及び変電製品の期ずれによる減少が要因

産業システム

(2014年度) (2015年度)

30億円 ⇒ 40億円 (予想対比+4億円)

モータ・インバータ関連、動力計測関連、電子機器関連ともに増益

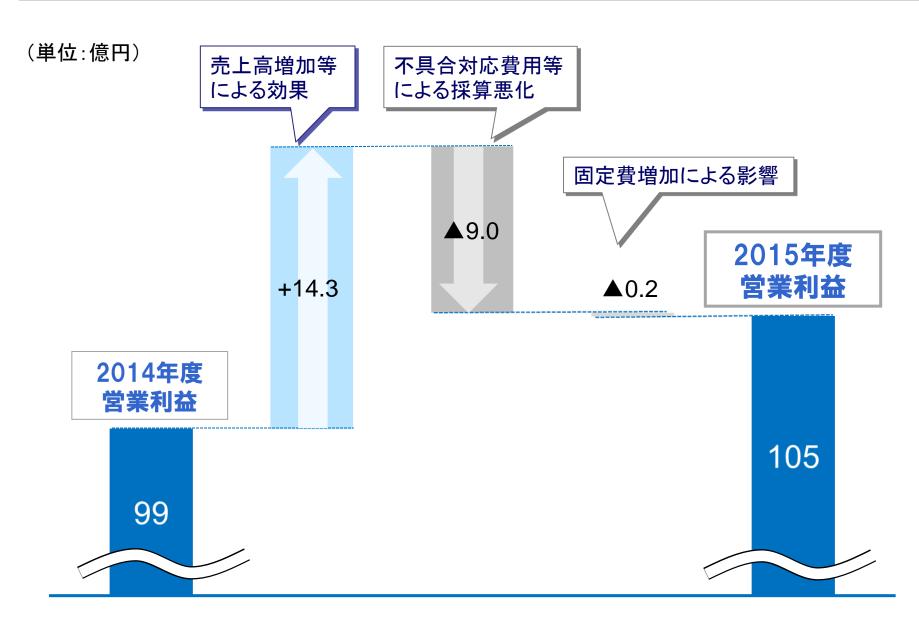
保守・サービス

(2014年度) (2015年度)

25億円 ⇒ 29億円 (予想対比同水準)

ワンストップサービス強化の成果

営業利益の主な増減要因(前期比)



中期経営計画V120の進捗と 2016年度の見通し

V120 2015~2017年度

2017年度

2015年度

2,374億円

連結 売上高 2,700億円

ビジョン ありたい姿

社会インフラの未来を 支えて持続的に成長・発展 する重電メーカ

POWER5 フェーズⅢ

「成長・新事業」の拡大

V120

- ・国内事業の収益基盤強化
- ・海外事業の成長拡大
- ・製品競争力の強化

- ■国内・海外で持続的に 成長・発展するサイクル
- ■システムと製品の連繋 により成長・発展する サイクル

製品力で新しい「未来」を創造する

	2015年度 実績	2016年度 予想
受注高	247,747	250,000
売上高	237,404	240,000
営業利益	10,517	10,500
経常利益	10,595	10,500
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,962	7,000
:心/世	Q 21 <i>1</i>	0.250
設備投資額 研究開発費	8,314 9,970	9,250 10,100

▲社会インフラ事業分野

(単位:百万円)

	2015年度 実績	2016年度 予想
受注高	148,006	157,000
売上高	140,585	146,000
営業利益	3,971	5,000
設備投資額	2,438	3,000
研究開発費	4,535	3,700

成果と今後の取組み

電力・社会システム事業関連

- ▶ パートナーシップの強化 (イームル工業、印Prime Meiden、独TRIDELTA)
- ➤ V-GISの開発、販売開始

水・環境システム事業関連

- ▶ セラミック平膜拡大(北米、中東・ASEAN他)
- ▶ オルガノ等とのパートナーシップの強化

電鉄システム事業関連

- 海外電鉄大型物件の受注拡大
- 特長あるドアノック製品の拡大



4極タービン発電機 V-GIS:



電鉄向け監視制御システム

真空インタラプタを適用した 世界初の145kVガス絶縁開閉装置

2016年度予想

海外(電鉄、変電)、中小水力の 売上・利益拡大で、増収増益を計画

- 海外電鉄
- 国内電力
- 中小水力





産業システム事業分野

(単位:百万円)

	2015年度 実績	2016年度
受注高	63,426	55,000
売上高	61,090	55,000
営業利益	4,030	2,800
設備投資額	1,165	1,600
研究開発費	2,243	2,500



高速PMモータ



トランスレス 高圧インバータ



真空コンデンサ

成果と今後の取組み

製品競争力の強化

- ➤ 高速PMモータ
- ▶ トランスレス高圧インバータ
- ▶ 真空コンデンサ(生産設備を拡張)

動力計測システム:自動車解析用・評価システムのインテグレータへの飛躍

2016年度予想

PHEV・EV減少の影響を 動力計測と電子機器で一部カバー

- PHEV·EV用モータ·インバータ
 - 動力計測
- 電子機器



主要セグメント状況

【保守・サービス事業分野

(単位:百万円)

	2015年度 実績	2016年度
受注高	32,440	33,000
売上高	31,007	32,000
営業利益	2,921	3,100
設備投資額	253	500
研究開発費	180	200

成果と今後の取組み

「ワンストップサービス」の拡大

施設全体の保守・点検、 維持管理から運転管理まで

- ◆異業種とのパートナーシップ (機械・空調、工事など)
- ◆ICT・IoT活用による 保守サービスの合理化
- ◆アジアなど新興国の 保守サービス体制の強化
- ◆再生可能エネ関連の拡大 (太陽光・風力向け保守サービス)





2016年度予想

ワンストップの強化、海外展開加速を 図ることで、増収増益を計画

			(単位:日刀口)
		2015年度	2016年度
		実績	予想
社会インフラ	売上高	140,585	146,000
社女インノノ	営業利益	3,971	5,000
産業システム	売上高	61,090	55,000
圧未ノヘノム	営業利益	4,030	2,800
保守・サービス	売上高	31,007	32,000
体力・リーピク	営業利益	2,921	3,100
不動産	売上高	3,386	3,400
个 到 庄	営業利益	1,280	1,300
その他	売上高	19,712	21,000
で ひ 月 世	営業利益	493	600
全社又は消去	売上高	▲ 18,378	▲ 17,400
土仙人は汨五	営業利益	▲ 2,180	▲ 2,300
合 計	売上高	237,404	240,000
	営業利益	10,517	10,500

注意事項

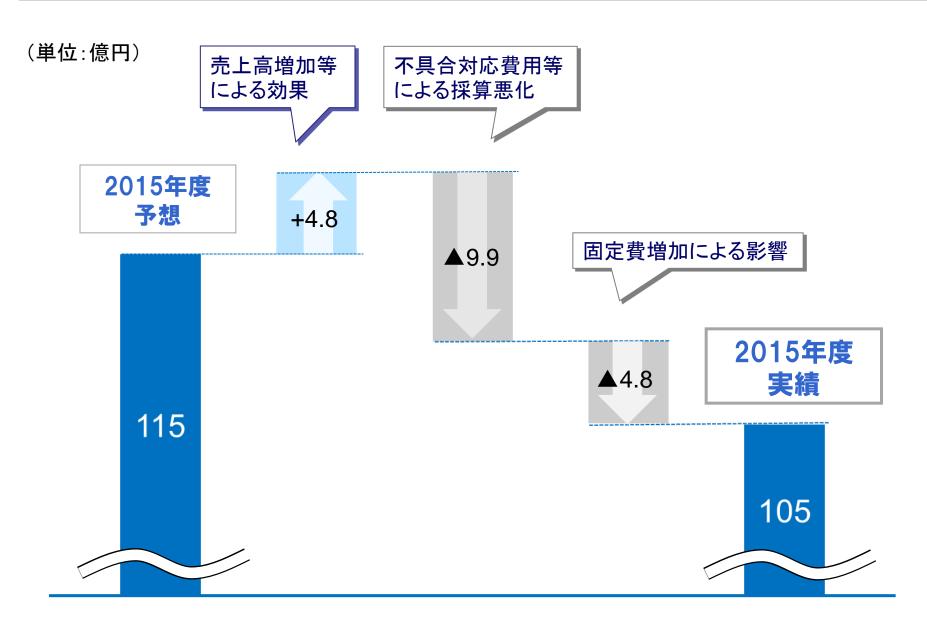
本資料に記述されている業績ならびに将来予想は、 現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した ものであり、潜在的なリスクや不確実性を含みます。

そのため、実際の業績は当社の予想とは異なる 可能性があることをご承知おきください。

新しい時代を元気にします

Empower for new days

営業利益の主な増減要因(予想比)



	2014年度 実績	2015年度 実績	対前期増減
資産の部	255,519	255,024	▲ 494
流動資産	147,077	148,757	1,679
現金・預金	8,781	14,538	5,756
受取手形及び売掛金	90,872	86,970	▲ 3,902
棚卸資産	39,031	38,982	▲ 49
固定資産	108,441	106,267	▲ 2,174
有形・無形固定資産	73,690	74,296	605
投資その他の資産	34,750	31,971	▲ 2,778

	2014年度 実績	2015年度 実績	対前期増減
負債の部	188,113	186,253	1,860
流動負債	114,678	123,157	8,478
支払手形及び買掛金	36,873	36,679	▲ 193
短期借入金 コマーシャルペーパー	24,814	32,870	8,056
固定負債	73,434	63,095	1 0,339
長期借入金	26,772	14,974	▲ 11,797
退職給付に係る負債	42,846	44,038	1,192
純資産の部	67,405	68,771	1,366
自己資本	66,109	67,532	1,423
株主資本	60,566	65,026	4,459
非支配株主持ち分	1,296	1.239	▲ 56